

●「ポスト京都」のゆくえ

12月3日より二週間にわたり、地球温暖化対策にどう取り組むかを協議する国連気候変動枠組み条約（UNFCCC）締約国会議と京都議定書締約国会合が、インドネシア・バリ島でおこなわれている。180ヶ国以上の政府代表が集まり、京都議定書の第一約束期間（2008～2012年）以降の温暖化対策の枠組み採「ポスト京都」を2009年までに合意するための行程表「バリ・ロードマップ」の採を目指す。あまり知られていないが、インドネシアは米国、中国に次ぐ世界第3位の地球温暖化ガス排出国である。「ポスト京都」は、いかに途上国を地球温暖化対策に参加させるかが重要であり、インドネシアにホスト役を振るのは賢明な策といえよう。

ところで、日本は「世界全体の排出量を現状に比して2050年までに半減する」と提起しており、ヨーロッパ勢はそれ以上の削減幅をもくろんでいる。京都議定書の完全履行（日本は1990年時点から6%削減）さえ危ぶまれる中で、これらは実現可能な議論といえるのだろうか。

OECDによると、運輸部門は、技術開発と需要管理を組み合わせると、CO2を50～80%削減することができるらしい。技術開発とは、低炭素化燃料の普及や燃費改善であり、需要管理とは、物流における船舶・鉄道利用と積載率向上、人流における都市の高密度化と公共交通活用、徒歩・自転車の奨励などがある。諸策実施に先立ち、既存交通計画の抜本的見直しは必至である。

最後に日本の提案は、英文ステートメントによると、“Cool Earth 50”と名付けられている。まさに、クールにカッコよく実現できるであろうか。

熊沢 憲（海外室）

●NPO法人 隅田川・江戸文化観光振興会」による行政境を越えた活動

前号のホットニュース（第109号／11月配信）において、新タワーの建設効果に応えるためには、墨田区と台東区など行政区を越えた地域一体の活性化等の取り組みの必要性を述べた。

行政連携は今後の動向に期待するものであるが、民間ベースでは既に活動の展開が見られる。弊社は、墨田区と台東区浅草地域の地元有志で組織する「NPO法人 隅田川・江戸文化観光振興会」の活動をサポートしている。

この組織は、平成18年5月に東京都のNPO法人承認を受け設立されたものであり、浅草・両国・向島などの江戸以来の伝統文化が集積する隅田川周辺地域に住む人々と、そこに訪れる人々を対象として、地域の活性化に関する情報の収集・提供、イベントの開催、伝統文化の振興に関する事業などを行うことにより、地域の活性化及び観光まちづくりの推進に寄与することを目的としている。

特に、外国人観光客誘致のための国の補助制度である「観光ルネッサンス事業」の展開に力を注ぎ、墨田区に点在する伝統工芸（べっ甲、江戸切子、江戸小紋染、羽子板など）の体験工房の受け入れサービスの整備、外国人のための浴衣による夕涼み会や浅草と墨田側を結ぶ大盆踊り「大東京和おどり」等々、多様な事業を展開している。（詳しくはホームページ参照願います）
<http://kanko-sumida.com/sumidagawa-edo/index.html>

活動初年度は手探り状態ながらも多彩な事業メニューを展開し、今年は活動2年目ということで、事務局の機能強化や賛助会員の新規獲得など、組織の自立強化に向けて苦闘している。

また、直近の事業としては、今月の18日（火曜日）に浅草の羽子板市と両国の羽子板工房の見学をセットとした「羽子板ガイドツアー」の開催。併せて現在は就航ルートが無い浅草吾妻橋と両国を連絡する「舟運の試験運行」の実施。また、同時に池波正太郎の代表作である鬼平犯科帳の舞台であるゆかりの両国・浅草地域を巡る「鬼平ガイドツアー」なども開催します。江戸下町文化をドブッリ楽しみたい方は是非参加してください。

NPO法人 隅田川・江戸文化観光振興会スーパーバイザー
海口晴彦（第二計画部）

●エコドライブのすすめ

最近では「地球温暖化」など、環境に関わる言葉を見聞きしない日はないくらい、世の中全体環境問題への関心が高まっています。

栃木県では、昨年から毎年11月を「エコドライブ推進月間」と位置づけ、年々増加している乗用車からの二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化を防止するためのキャンペーンや講習会・試乗会を行っています。先日、そのエコドライブ講習会に携わる機会がありました。

エコドライブには「ゆるやかな発進」や「アイドリングストップ」だけではなく、「タイヤの空気圧をこまめにチェック」、「不要な荷物は積まない」などの運転技術以外のことも含まれます。ちなみに、エコドライブ講習の前後では平均で約2割の燃費削減効果がありました。

ガソリン代の値上げが気になる今日この頃、お財布にも環境にもやさしいエコドライブ、ぜひ実践してみませんか？

大野 学（第一計画部）

発行責任者：代表取締役 庄山 高司
事務局：株式会社アルメック 業務部
東京都目黒区青葉台 1-19-14
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210
Eメール hotnews@almec.co.jp
ホームページ <http://www.almec.co.jp>

Copyright 2007 ALMEC Corporation. All rights reserved.